

浜松西ロータリークラブ週報

UNITE
FOR
GOOD



Rotary

2025～2026年度
国際ロータリー会長
フランチスコ・アレツオ
第2620地区 ガバナー
稲葉雅之

Rotary International D2620 (静岡第5グループ)

事務所 浜松市中央区元城町109-18 〒430-0946
例会場 ホテルコンコルド浜松 例会日 毎週金曜日12:30～13:30
Tel:053-457-1116 Fax:053-455-4614
E-mail: hamamatsu-nishi@ri2620.gr.jp
会長 山本英明 幹事 中村俊幸
クラブ委員長 半場圭伊子 中村浩光 齋藤権司
中村美香保 八木榮次 塩崎明子

第2224回 Vol.49 - No. 4 2025/8/8 (金) 12:30～13:30 (晴)

司会SAA 小林昇正君
点鐘 会長 山本英明君
国歌斉唱「君が代」
ロータリーソング 「奉仕の理想」
ソングリーダー 中村美香保君



出席報告 竹村寿文君

会員数	総出席	当日出席率
45名	37名	84.09%

(免除者 15名) (事前MU 0名)

会長挨拶 山本英明会長

皆さんこんにちは、8月8日は「はっはっ」ということで、笑いの日だそうです。ロータリーでの8月は、「会員増強・新クラブ結成推進月間」です。7月26日には、静岡「あざれあ」で行われた、地区会員増強セミナーに中村幹事、上田会長エレクトと参加してきました。他クラブの成功事例、衛星クラブの活用方法、後半にはテーブルミーティングで、各クラブの取組、悩み事など共有しました。

本日の卓話は、クラブ協議会です。会員増強の件は卓話の時間でもお話しさせていただきます。

7月27日は、ZOOMにて地区米山記念奨学セミナーがあり、三浦彩鈴さんと参加しました。私は、少し米山奨学生と青少年留学生がごっちゃになっていたり、認識がまちがっていました。米山月間は10月ですが、少しお話しさせていただきます。

米山奨学金の発足は、日本にロータリークラブを初めて設立した人物でもある、米山梅吉翁が「ロータリーの奉仕の理想の具現化」として、戦争でアジア諸国に大変な思いをさせてしまったと、アジア諸国からの留学生を支援する為に創設されました。まず、この点が認識不足でした。アジア諸国に迷惑かけたという思いからスタートしていたとは、理解していませんでした。第二次世界大戦後の日本とアジア諸国の関係に重要な役割を果たしていること、ロータリアンと米山奨学生のつながり、奨学生がロータリーを学ぶことにより、そのコミュニティーの構築による平和な世界の実現に貢献していくこと、相互理解と協力に基づいた、国際社会の構築に寄与するという壮大なものであることを、ただの経済支援ではな

いことを改めて認識しました。

世界的なテーマでいえば、

8月1日に行われた、国際ロータリー2660地区企画の大阪・関西万博テーマウィーク「平和構築と人権擁護」もライブで視聴させていただきました。

青少年の提言で高校生たちが、子ども兵士の問題やAI時代のリテラシーの問題を取り上げ、平和に必要なものとして「教育」をテーマにしているグループがあり驚きました。そして、ここでもロータリーが世界とつながっていると感じました。

やはり家族、学校、社会、国家、世界は結局は個人の集まりです。個人としての行動の成果が少しでも、その行動が意味がないわけではないことを他者を理解して自分事として考え、そしてリテラシーをもって行動すれば、何かが変化していくことに気付かされました。

挨拶というより報告になってしまっていますが、まだあります。7月30日には、豊橋東ロータリークラブさんから、オープン例会のお誘いがあり、会長、幹事、会長エレクト、副幹事と参加予定でした。この日の朝、津波警報が発令され、オープン例会は開催されたのですが、我々は昼12時の段階で全員当日キャンセルという形をとりました。楽しみにしていたのですが残念です。機会をつくって、メーキャップに伺おうと思います。8月3日にはインターアクトクラブ年次大会が伊豆で行われ、中村美香保さんに参加していただいています。ありがとうございました。次回例会で活動報告もよろしくお願い致します。

それでは、本日もよろしくお願いします。

幹事報告 中村俊幸幹事

◎例会変更のお知らせは、
週報・HPにてご確認ください。

◎浜松東RC
(オークラアクティビティホテル浜松)

- ・9月19日(金) 12:00～12:30
- ・9月26日(金) 特別休会
- ・10月31日(金) 特別休会

◎配布物

- ・週報 2223号
- ・ロータリーの友
- ・ポールハリスフェロー贈呈
半場圭伊子さん

スマイルレポート 瀧本健司君



委員会報告

◎三浦彩鈴 米山奨学会委員長

国際ロータリー第2620地区米山記念奨学セミナーが、7月27日(日)にZOOMにて開催されました。久しぶりのZOOMで最初、入室後の名前変更にもたついてしまいましたが山本会長に助けていただきながら何とか無事セミナーに参加出来ました。



はじめに稲葉雅之ガバナーの挨拶があり、続いてガバナーエレクト、米山記念奨学会委員長の挨拶がありました。

セミナーにおいては、第6代米山親善大使で2014年RI第2760地区大府ロータリークラブ奨学生だったモンゴルのガンバトゥ・メンバヤルさんの米山奨学生として活動していた時の体験談とそれを通して、米山奨学生事業の素晴らしさと感謝についての講演が行われました。その経験を生かし、彼は現在自国で起業し、2人の子どもにも恵まれて家庭を持ちモンゴルと日本の橋渡しとして親善大使となり、活躍されているそうです。

その後クラブ会長、地区役員、委員長、カウンセラーの質疑応答があり、今後の米山事業に関する理解を深める事によってこの取組がいかに重要であるかについて話し合いが行われました。

☆会員誕生日

河島将矩君 坂本修一君 岩渕綾太君 中村美香保君
瀧本健司君 八木榮次君



☆配偶者誕生日

山本麻衣子さん(卓生君)
松山代枝子さん(亘男君)
齋藤慶子さん(昌彦君)
青木和代さん(元男君)
須藤雅夫さん(京子君)
中村友季子さん(浩光君)

☆結婚記念日

早川和幸君・孝子様 ご夫妻

本日のプログラム

担当 山本英明会長

発表者 山本英明会長

タイトル クラブ協議会 各委員会ミーティング

発表者 ・瀧本権司 テーブル代表

・坂田茂 テーブル代表

・渡邊記余子 テーブル代表

◎会員増強 会長ひとこと

会員増強セミナーのなかで、これは当クラブも採用すべきと思ったものにゴルフのマスターズで、参加選手に贈られる招待状をもじって、新会員予定者の方にクラブから、「あなたは正式に招待されました」と高級な紙で書かれ

たものをお渡しし誘うというものです。各会員個人が誘っているときは、誘われている側も正式なのか判断できなかったというお話から、この招待状をつくられたそうです。また、その情報を得たクラブがまねして成果をあげられています。当クラブもこれから検討していきたいと思っています。ざっくばらんな話し合いをお願いします。

では、会員増強維持委員会上田委員長よりしくをお願いします。

◆新会員獲得における障害

会費の高さ、金曜日の開催時間、出席義務が主な障害として挙げられました。特に会費については年額で高く感じられるため、毎回の食事代(1回 2,800円)が含まれていることを明確に伝え、価値を理解してもらう必要があります。毎週の例会(現在は月3回)の頻度も障害と感じられることがあるが、入会後は毎週参加したくなるという意見もありました。また、高齢会員は交友関係が狭まり勧誘が難しくなるため、40代から60代の活力ある世代が勧誘の主役となるべきだとの提案もありました。同業者が多いことによる多様性の欠如や、医師など特定の職業の会員が昼間の診察中に例会に参加しにくいことも障害として挙げられています。

◆浜松西ロータリークラブの魅力

年功序列や経験、立場に関わらず、会員同士がフラットな関係を築ける点が最大の魅力です。会員数が約50名と適度なため、派閥がなく意見が通りやすい運営も強みとされています。他のクラブと比較して抜群に美味しい食事やクラブの良い雰囲気、職場からの近さも、他にはない魅力として評価されています。

会員増強については、無理に人数を増やすのではなく、クラブに本当に合う人材を厳選し、長く活動してもらう「辞められないロータリー」を目指すべきだという意見でまとまりました。現在の約50名という人数は、まとまりやすい規模であると評価されています。

◆活動の意義と今後の課題

「この会にいる意味がない」という意見は特にありませんでした。活動の価値は個人の価値観や年代によって異なり、特にリタイア後の人生を豊かにする上で重要であると認識されています。若い時に意味がないと感じる人もいるかもしれないが、年を重ね会社を辞めた後、週に一度の例会が唯一の社会との接点となるなど、その価値を強く感じるようになる会員が多い。若いうちから参加することが、将来の充実につながるという意見も出ました。

一方で、マンネリ化を防ぐため、経験者だけでなく若手や未経験者を役職へ積極的に登用し、新しい発想を取り入れるべきだという課題も指摘されました。過去には未経験者を理事役員に登用し成功した事例があるものの、その後経験者中心に戻り、新しい発想が生まれにくい状況があるとの指摘がありました。活動に価値を見いだせない人は自然に退会するため、現会員はクラブの意義を理解しているとの見解が示されています。

